

1

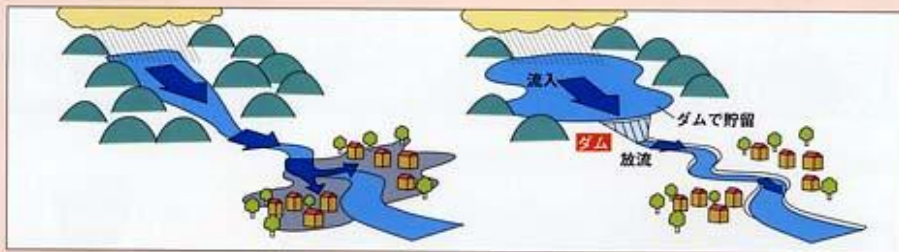
洪水調節

洪水時に上流からの河川流量をダムで調節し、下流の河川流量を低減させ洪水被害の軽減を図ります。ダムによる洪水調節は、下流部の河川の改修効果とともに、洪水防御を行う極めて有効な治水対策です。

ダムがないと

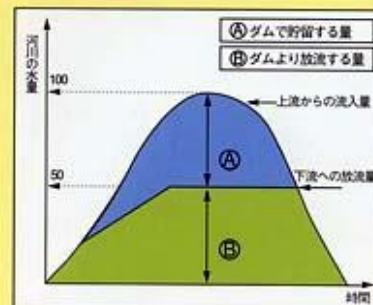


ダムができれば



Q：ダムがあるとかがって洪水が起こるのではないですか？

A：ダムは、河川を流れる洪水の一部を貯留し下流への洪水被害を軽減させる役目をもっています。ただし、その能力を超える大きな洪水が流入した場合にはダムへ流入する洪水をそのまま下流へ放流します。しかし、この場合でも、流入する洪水以上の流量を下流へ放流することはないので、ダムによって洪水が起こることも、また、洪水被害が大きくなることもありません。



2

流水の正常な機能の維持

本来河川が持っている機能（舟運、漁業、観光、塩害防止、河口閉塞の防止、河川管理施設の保護、地下水の維持、動植物の保護、流水の清潔の保持、既得用水等の安定取水）を正常に維持するために、渇水時においてもダムからの流水の補給を行い、これらの機能の維持を図ります。



既得かんがい用水等の確保



舟運



漁業



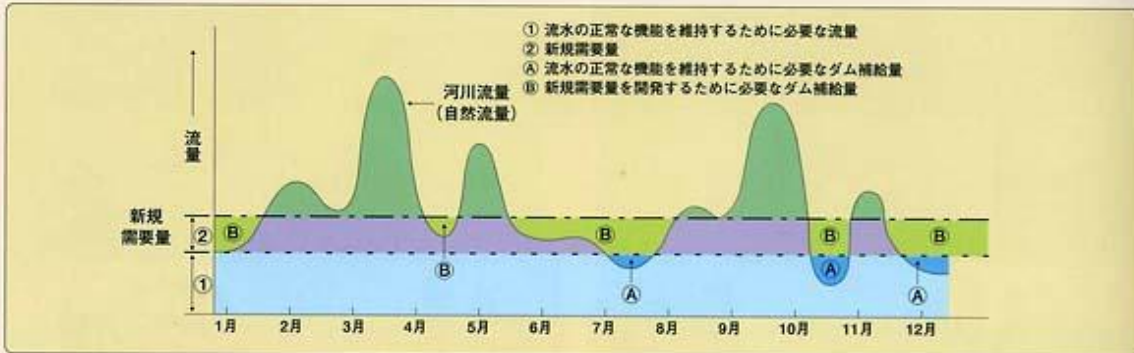
観光

3

都市用水、かんがい用水の開発及び発電

社会の発展に伴って増加する都市用水等を供給し、また、エネルギー需要に対応してクリーンエネルギーである水力発電を行います。

ダムによって、河川の流量が豊かな時には水を貯留し、必要な流量が不足している時には水を供給して、年間を通して安定的に利用できる流量を増加させることで、新たな水資源の開発を行うことができます。



■都市用水



生活用水



水洗トイレ



プール



生活用水